

九州運輸局メールマガジン 平成25年6月20日 第219号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

## 目次

### 1 九州運輸局ホームページアップ情報（6月13日～6月19日掲載分）

- ・分野別情報
- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・各種情報

### 2 現場レポート

- ・「第1回瀬戸内海観光連携推進会議」を大型フェリーの船上で開催
- ・「海事教室（海の子育成プロジェクト）」6年目に突入

#### 1 九州運輸局ホームページアップ情報

（6月13日～6月19日掲載分）

----- 分野別情報-----

《公共交通活性化》

地域の交通活性化：4.各種補助メニュー等（地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価結果 平成25年度追加）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file30-2.htm>

九州地方交通審議会（第16回議事録追加）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file35.html>

----- 報道発表 -----

A S E A N 6カ国から招請した旅行会社との観光説明会・商談会を実施します！

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0612-kokusai.pdf>

（一社）九州経済連合会及び九州商工会議所連合会に対する燃料油価格高騰下における適正取引推進に関する緊急協力要請について

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0617-kamotsu.pdf>

平成24年度 長距離フェリー・主要離島航路 輸送実績について

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0618-ryokaku.pdf>

クルーズ航路の新規開拓事業第2弾を実施します！

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-0619-kokusai.pdf>

----- お知らせ -----

港と倉庫の見学会を開催します！

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2013-0619-buturyu.pdf>

平成25年度 整備管理者選任前研修の開催について（6月18日現在）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2013-0618-0855.pdf>

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

物品・役務入札公示（6月12日公示分追加）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)

入札結果の公表（平成25年5月分追加）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu\\_kekka/1305.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1305.pdf)

契約結果に係る情報の公表（平成25年5月分追加）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku\\_kekka/2505.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/2505.pdf)

## 2 現場レポート

「第1回瀬戸内海観光連携推進会議」を大型フェリーの船上で開催

6月2日(日)、瀬戸内海の観光振興の活性化に向けた取組を行う第1回瀬戸内海観光連携推進会議が、大型フェリー「フェリーさんふらわあ」の船上で開催されました。

本会議は、平成23年7月の大河ドラマ「平清盛」放映に先立ち、中国運輸局の呼びかけで中国、神戸、四国の3運輸局の広域連合により「平清盛」瀬戸内連携推進会議」としてスタート。その後、近畿、九州運輸局が加わり5局連合で会議を開催してきましたが、大河ドラマの放映終了により、本年4月に「瀬戸内海観光連携推進会議」と名称を新たにし、引き続き従前からの取組を踏襲していくことを決定、今回の会議開催となったところです。

今回の会議は、(株)フェリーさんふらわあが運航する、大阪から別府への「昼の瀬戸内感動クルーズ」にあわせて実施され、5局の局長、企画観光部長等に加え、志村観光庁次長、後藤鉄道・運輸機構理事等、そうそうたるメンバーが勢揃いしました。

朝10時に大阪港を出港、夜の便では見ることのできない昼の瀬戸内海の美しい島々を眺めながらの航海は快適で、特に明石海峡大橋、備讃瀬戸大橋、来島海峡大橋などのそれぞれのポイントでは、事前にレクを受けた上で見学し、皆さん大変満足した様子でした。

船上では、大阪府立大学の池田教授による「瀬戸内海の魅力と瀬戸内クルーズの可能性」と題した講演会、(株)フェリーさんふらわあの奥村社長や池田教授等を交えての意見交換会を開催、会議で決議された「瀬戸内海観光宣言」が読み上げられた後、賑やかに懇親会が進む中、22時に別府港に着岸し、非常に有意義な航海が終了しました。

今回は、私にとっても、日頃経験のできない貴重な会議となりました。

【九州運輸局企画観光部 観光地域振興課】

「瀬戸内海観光宣言」は次のURLからご覧いただけます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_219\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_219_3.pdf)

当日の様子は次のURLからご覧いただけます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_219.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_219.pdf)

-----  
「海事教室（海の子育成プロジェクト）」6年目に突入  
～平成25年度の三角の取り組み～

熊本運輸支局三角庁舎では、海や海に係わる仕事に興味を持ってもらうため、主に小・中学生を対象に毎年海事教室を開催しています。

6月4日は小学校（2校合同）の5年生児童42名と先生5名を、6月10日は小学校3・4年生児童37名と先生3名を対象に「フェリーの乗船体験」及び「大型造船所の施設見学」を実施しました。

まず「フェリーの乗船体験」では、熊本と長崎を結ぶフェリーに乗船、生まれて初めてフェリーに乗った児童は、やや緊張気味の面持ちでしたが、船長他乗組員の方から船の航行・停止の仕組みや、夜間に衝突しないためのレーダーなど計器類の使用によって安全に運航しているとの丁寧な説明に安堵していました。

また、救命胴衣の着用体験では、「救命胴衣の色は何故オレンジ色なのか」や「重いと思ったけど意外と軽い」などの質問や感想があり、子供達の豊かな着目点に感動を覚えました。

次に、長さ330mの船を造る国内屈指の造船所の見学です。先に造船所の大会議室で座学が行われ、担当者が大型モニターを使って会社設立の歴史、造船所の規模や建造している船の種類などを説明後、バスで構内を回りました。

様々な形の鋼板が、溶接によって一つのブロックになる様子や、数百トンまで組み立てられた巨大なブロックが、高さ80mのゴライアスクレーン（大型門型クレーン）で吊り上げられ、組み立てられて船の形となっていく実像を目の当たりにしました。

最後に、発注者へ引渡し直前の大型貨物船の見学をさせていただきました。その長さ290m、高さ25mの構造物（船）の大きさに驚きながらも、船側に沿って設置されたタワー状の階段を登る怖さと戦いつつ、子供達は一生懸命にブリッジまで昇り、さらに大きさ・凄さを体感させてもらいました。

小学校へ帰るバスの中での感想は、「海のことはあまり知らなかったけど勉強してもっと知りたい」「フェリーは初めてだったので最初怖かったけど、また家族で乗ってみたい」など、少しでも海に興味を持ってもらったのではないかと感じており、たった1日の体験ですが、79名の子供達の中から一人でも海事産業に係わる仕事に就いてもらえたらと期待する次第です。

なお、熊本フェリー（株）、有明海自動車航走船組合及びジャパンマリユナイテッド（株）の皆様には、子供達の年齢に応じて、判りやすく説明される等多くの工夫を頂き、皆様の熱意やご協力に対し心より感謝を申し上げます。

【熊本運輸支局 運航・船舶担当】

当日の様子は次のURLからご覧いただけます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_219\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_219_2.pdf)

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

夏になりました。

夏と言えばビアガーデン。

初めて登場したのは明治初期とのことですが、花見の習慣がある日本人に普及するのは当然の結果だったのでしょ。

何時の頃からか始まった飲み放題や食べ放題が、一般に広まったのもビアガーデンのお陰と、ビール党の小市民としては感謝しきりです。

この前、今年始めて職場の同僚と繰り出しました。飛行機を眺めながらのビールは爽快そのもの。

その日から営業開始ということで、テレビの取材も来ており、私たちのグループも取材を受けましたが、インタビュアーもしっかり飲んでいたのは流石。

翌日、「サイコー！ビール大好き！」などと叫んでいる、ビール大好き人間の映像がテレビで流れたのは、ここだけの秘密？

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: [mm-kyushu@qst.mlit.go.jp](mailto:mm-kyushu@qst.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192